

# 資料編

## 1 本市における協働の取り組み

- (1) 地域協働支援アドバイザー事業の有効活用
- (2) 講座・セミナーの開催
- (3) 御前崎市まちづくり活動支援補助金制度
- (4) 包括連携協定
- (5) 町内会との協働
- (6) 地区センターとの協働

## 2 御前崎市市民協働に関するアンケートについて

## 3 御前崎市の協働・連携事例

## 1 本市における協働の取り組み

### (1) 地域協働支援アドバイザー事業の有効活用

市民活動を担うさまざまな団体の自立と活動の充実を促進するため、地域協働支援アドバイザー事業により以下のような取り組みを実施し、多様な主体による、協働に支えられる地域づくりを目指しています。

- ・協働の担い手の人材育成
- ・協働に関する情報発信
- ・市民活動を担う団体の支援
- ・市民活動団体の組織運営基盤強化
- ・多様な主体のマッチング
- ・中間支援の体制づくりに向けた研究

### (2) 講座・セミナーの開催

市民活動団体・企業・学校など広く市民を対象に、協働・市民活動・社会貢献活動に関する講座または交流会等を実施しています。

#### 【事例】

- ・市民活動スキルアップ講座(御前崎未来ゼミ～まちづくりのヒントを学ぶ)
- ・中高生NPO活動体験プログラム(日本語教室の授業サポート等)

### (3) 御前崎市まちづくり活動支援補助金制度

市は、市内で新しい活動を始めたい方や、すでに所属している団体で何か新しいことを始めたいと考えている方々の活動を支援します。

現在は、地域の活性化を図り、個性あるまちづくりを推進することを目的として、地域活性化につながる活動をしている市内の団体に対し、補助金を交付しています。

#### 【事例】

- ・手作り施設整備活動・・・ミニ公園や遊歩道の整備、史跡看板の設置等
- ・人づくり等育成活動・・・講演会の開催(男女共同参画、地域防災講座等)
- ・地域活性化のための活動・・・イベントの開催(地場産品PR、カヌー体験等)

#### (4) 包括連携協定

包括連携協定とは、さまざまな分野にわたり民間企業などとの緊密な相互連携により、市民サービスの向上を図るとともに、地域の活性化を推進することを目的として締結する協定です。御前崎市においても令和4年7月現在、10社と包括連携協定を締結し、協働の取り組みの一つの手法として活用しています。

行政と民間企業などが協働することで、双方の強みを生かして、企業の有する資源(人材、アイデア、ノウハウなど)を有効活用し、「健康増進」、「子育て・高齢者支援」、「観光・産業振興」などのさまざまな分野で効果的に事業が進められるよう取り組んでいます。

##### 【事例】

- ・ 店舗での広報誌やポスターの提示(総務課)
- ・ 認知症予防セミナーへの講師派遣(高齢者支援課)
- ・ 熱中症対策アドバイザー講習会の実施(健康づくり課)
- ・ 市職員向けSDGsセミナーの実施(企画政策課)

#### (5) 町内会との協働

地域で最も身近な住民組織である町内会と協働し、防災や環境衛生、健康づくりの推進などのさまざまな分野で住みよい地域づくり活動に取り組んでいます。

##### 【事例】

- ・ 地域のあいさつ運動
- ・ 河川愛護活動
- ・ 防災訓練の実施

#### (6) 地区センターとの協働

地区センターは、地域住民にとって最も身近なコミュニティづくりの拠点となる施設です。地区センターを拠点として、地域住民が自主的・主体的に取り組む協議会を組織し、地域の課題解決に取り組んでいます。

##### 【事例】

- ・ 地区センターまつりを通じた地域住民の交流
- ・ 高齢者等の地域の移動手段としての地域協働バスの運行
- ・ 大学生との防災キャンプの実施

# 御前崎市市民協働に 関するアンケートについて

御前崎市役所 企画政策課 協働推進室

## 調査の概要

- (1) 調査地域・・・御前崎市内
- (2) 調査対象・・・御前崎市市民及び、御前崎市に関わりのある方
- (3) 調査方法・・・① 御前崎市公式LINEを利用した電子システムによるアンケート  
② 地区センター利用者へのアンケート
- (4) 調査期間・・・令和4年5月25日(水)～令和4年6月24日(金)

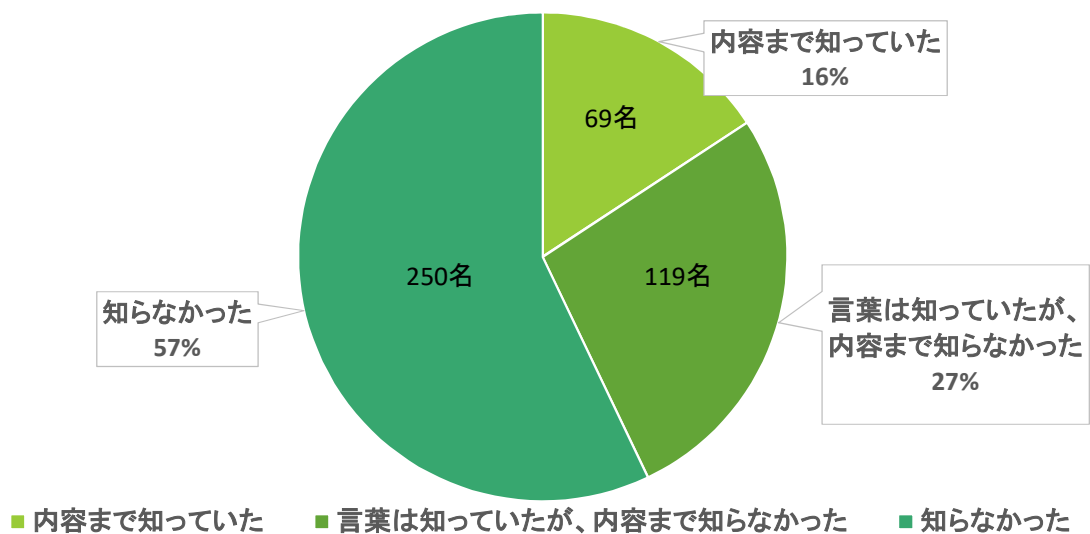
# アンケート結果

## 回答件数

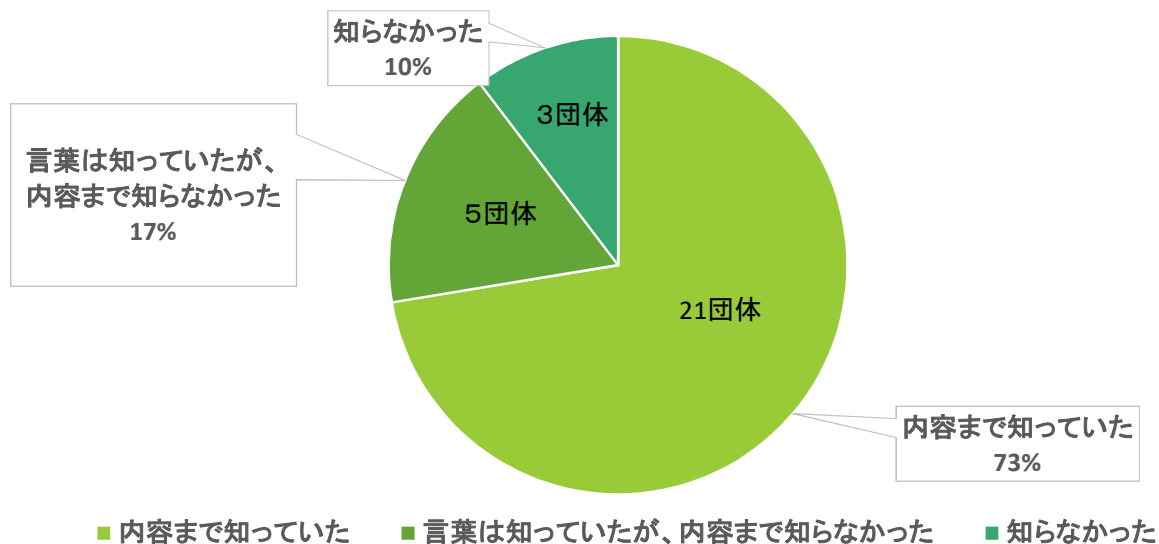
- ① 御前崎市公式LINEを利用した  
電子システムによるアンケート 270名
- ② 地区センター利用者へのアンケート 168名

計 438名

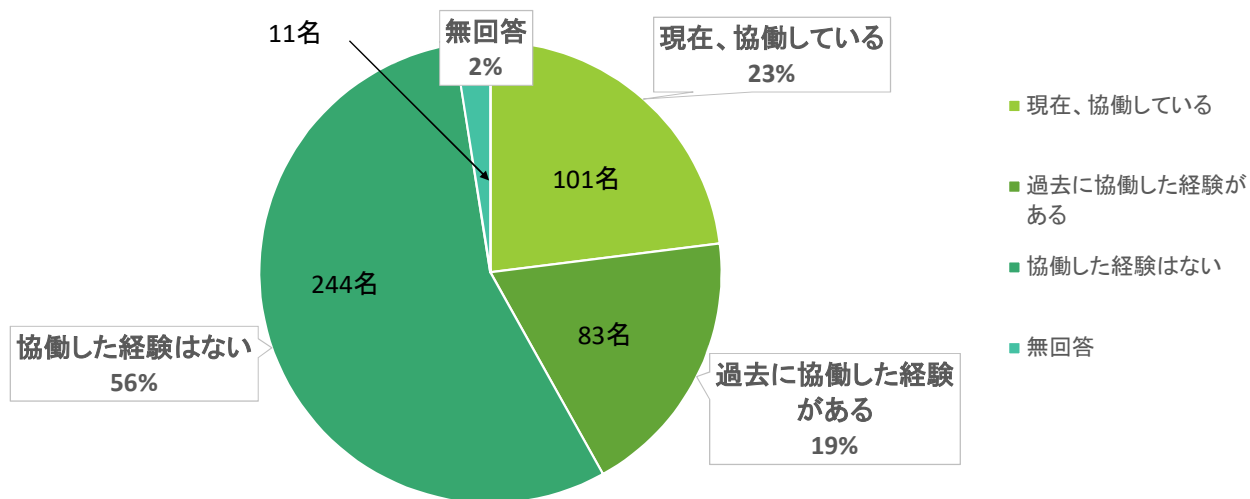
問1. 「協働」という言葉やその内容を知っていましたか。  
(1つだけ○)



参考：市民活動団体の結果  
「協働」という言葉やその内容を知っていましたか。(1つだけ○)



問2. あなたがこれまで御前崎市内で生活してきた中で  
他の団体と協働した経験はありますか。(1つだけ○)



※複数回答者1名

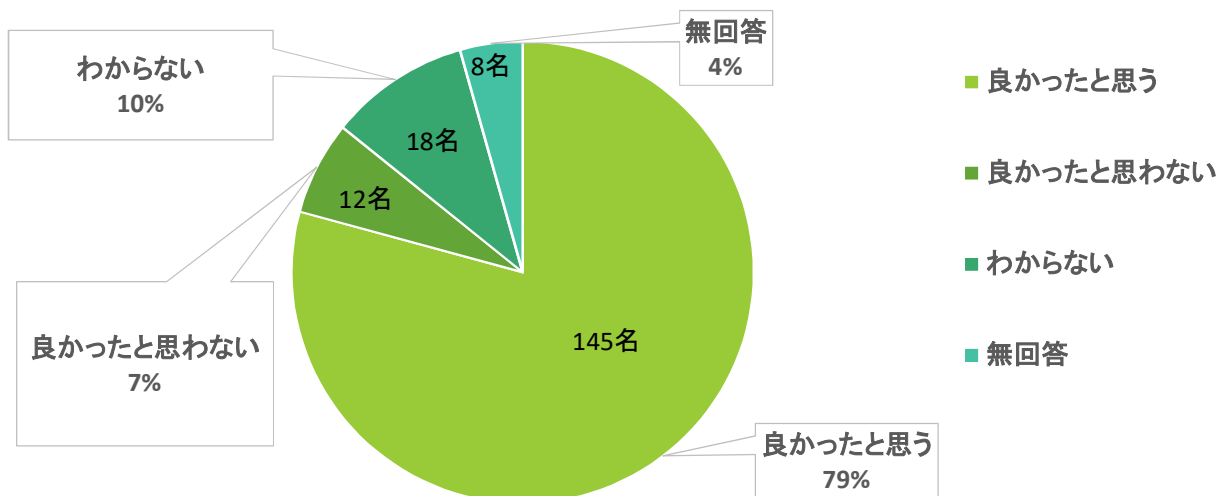
問3. 問2で「現在、協働している」、「過去に協働した経験がある」と回答した方に伺います。「協働」したのどのような内容でしたか。(自由記述)

・町内会の委員

・ボランティア

・児童の見守り隊 など…


問4. 問2で「現在、協働している」、「過去に協働した経験がある」と回答した方に伺います。「協働」して良かったと思えましたか。(1つだけ○)






問5. 問4で「協働して良かったと思う」と回答した理由を教えてください。(自由記述)

---

- ・地域の活性化に貢献できる
  - ・自分の成長につながる
  - ・新しい人間関係を築ける など…
- 

問5. 問4で「協働して良かったと思わない」と回答した理由を教えてください。(自由記述)

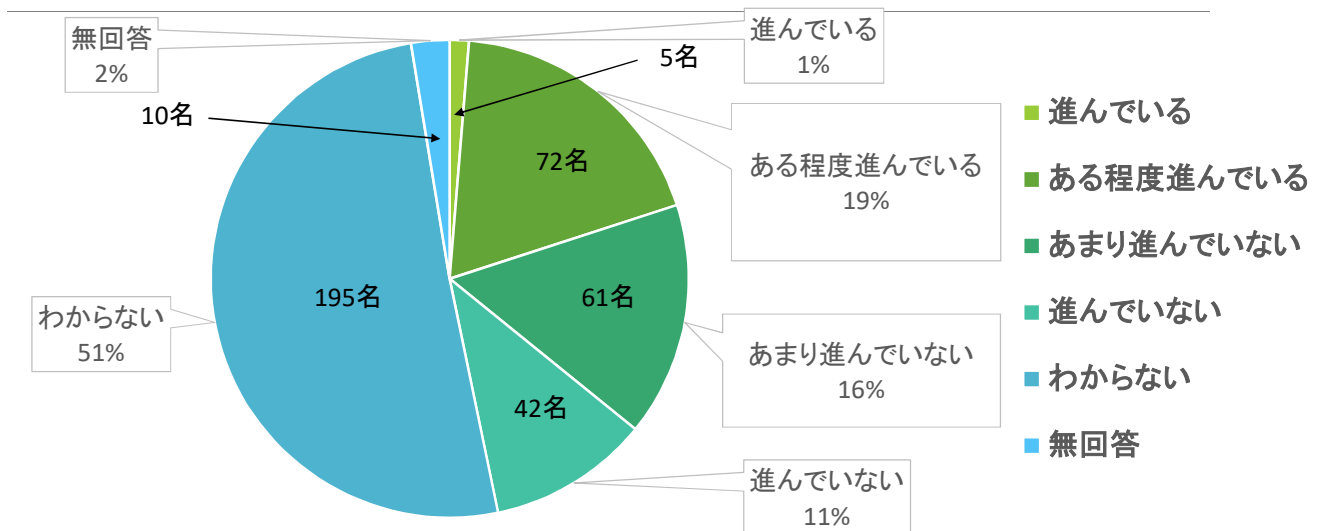
---

- ・負担が増える、負担が偏る
  - ・強制的にやらされた
  - ・市やほかの機関がやってほしい など…
- 

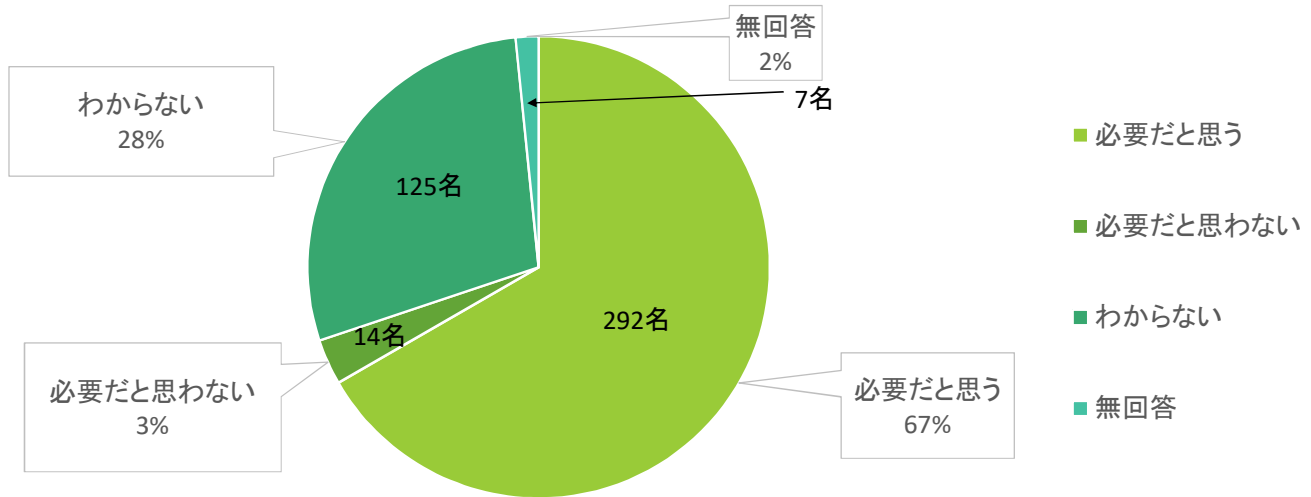
問5. 問4で「わからない」と回答した理由を教えてください。  
(自由記述)

- ・自主的ではなく、強制的になりがち
- ・そもそも協働の意味がよくわからない など・・・

問6. 御前崎市で「協働」は進んでいると思いますか。  
(1つだけ○)



## 問7. 協働は必要だと思いますか。(1つだけ○)




## 問8. 問7で「必要だと思う」回答した理由を教えてください。 (自由記述)

- ・地域との関わりが出来るから
- ・一人では生活出来ない
- ・みんなで協力すれば大きな成果がでる など・・・


問8. 問7で「必要だと思わない」と回答した理由を教えてください。(自由記述)

---

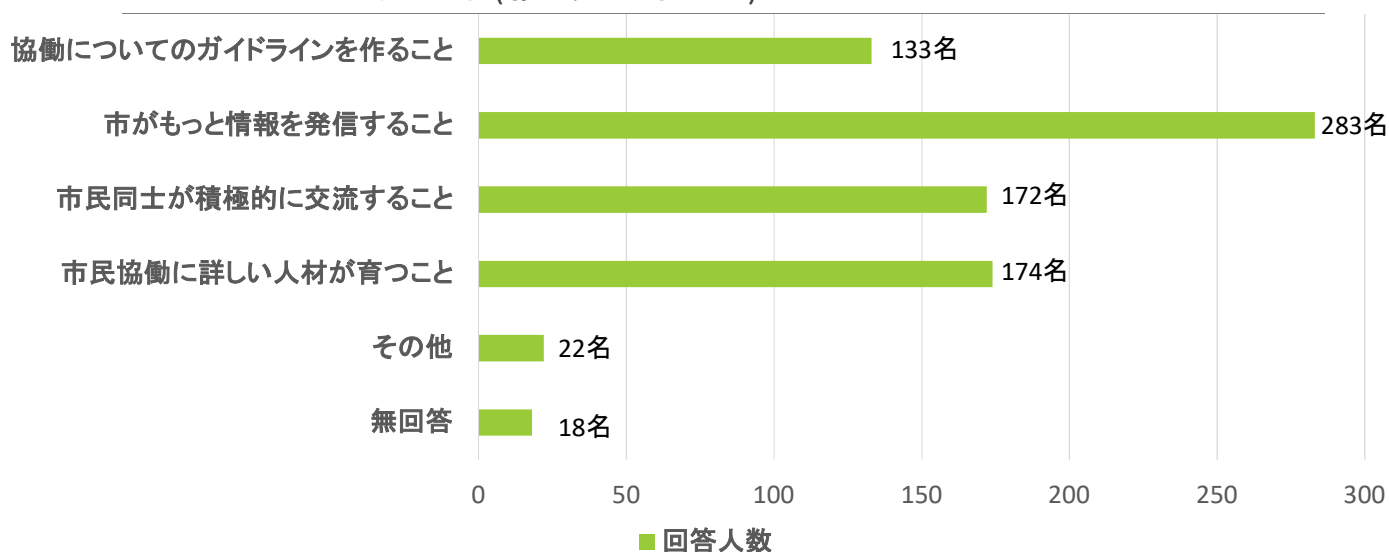
- ・強制的なところがあるから
  - ・すぐに押し付けられるから
  - ・行政がやればいいと思うから など…
- 

問8. 問7で「わからない」回答した理由を教えてください。(自由記述)

---

- ・自分のことができなくなるから
  - ・協働がよく分からない など…
- 

## 問9. 協働が進むためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答○)



## 御前崎市の協働・連携事例

御前崎市でも、様々な団体や市民の人たちが協働による取り組みを進めています。

### **CASE1** NPO 法人×行政

#### **「地域交流・社会貢献活動」**

##### **取組内容**

中高生を対象に、地域の課題に取り組むNPOが行う活動を体験できるプログラムを実施しています。NPO団体は、交流を通して自分たちの活動を広げるきっかけとなり、中高生は実際の活動に参加することで、自己の新たな可能性の発見や知識の取得につながります。



企画政策課事業

「中高生 NPO 活動体験プログラム」

### **CASE2**

#### **地区センター×住民・保護者×学校**

#### **「地域で子どもを守り育てる活動」**

##### **取組内容**

地区センターと小学校の呼びかけで、子どもたちを交通事故や犯罪の被害から守るため、地域の大人が通学路などで安全を見守る活動「青少年健全育成サポート隊」を実施しています。また、この活動を通して大人と子どもの関わりが深まり、青少年の健全育成につながっています。

毎年、市内8つの地区、各小学校保護者960人余りが登録しています。  
「写真10月第1週撮影予定」

社会教育課事業

「青少年健全育成サポート隊」

## CASE3 NPO×行政×市民

### 「海や山林を活かした人材育成」

#### ○取組内容

「地域を知る。仲間と協力する。自ら行動する。」ことを目標に、小中学生を対象とした自然文化体験「御前崎クエスト」を実施しています。地域のお寺や農家に協力していただき、「収穫体験」や「竹林整備」、「マリンクラフト」などの様々な体験を通して、御前崎の自然や産業、文化について学んでいます。

御前崎市社会教育課事業  
「御前崎クエスト」

## CASE4 地域活動団体×NPO×企業×行政

### 「企業とNPOの協働ゴミ拾い」

#### ○取組内容

海岸の保全活動や環境教育活動などに取り組むNPO法人 Earth Communicationが、企業や市民の方々と協力し、御前崎港内の久々生海岸でビーチクリーンを実施しています。



NPO 法人 Earth Communication  
「ビーチクリーン」



## CASE5 地区センター×市民×大学生×行政

### 「防災キャンプで地域の防災力向上」



#### ○取組内容

子どもたちが、災害時に地域で活躍してくれることを願い、比木地区センターと御前崎市が主催で防災キャンプを開催しています。令和4年度は、地区のボランティア、御前崎市消防署、静岡大学学生防災ネットワークの皆さんに協力していただき、炊き出しやテント設営、放水訓練などを行いました。

比木地区センター

「御前崎市防災キャンプ」